

経営比較分析表（平成29年度決算）

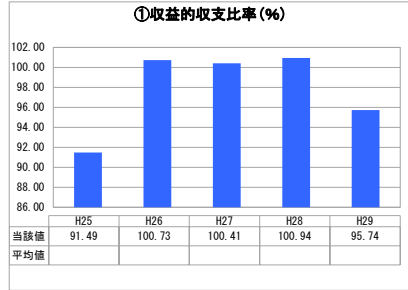
栃木県 益子町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ ³ 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	9.41	93.94	2,808

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
23,465	89.40	262.47
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,193	1.00	2,193.00

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成29年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



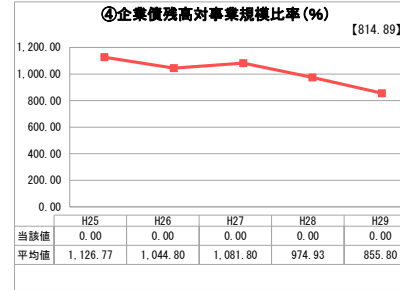
「単年度の収支」



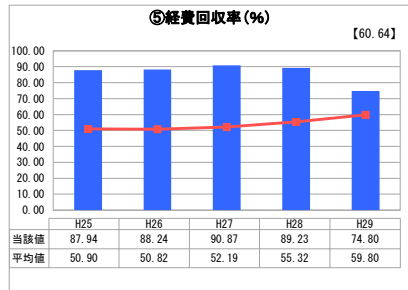
「累積欠損」



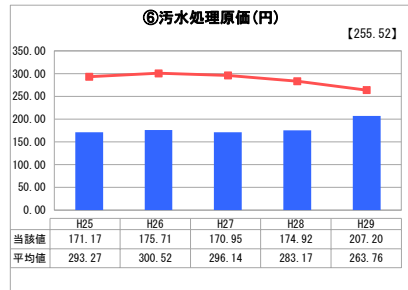
「支払能力」



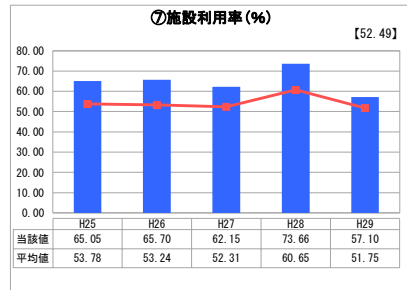
「債務残高」



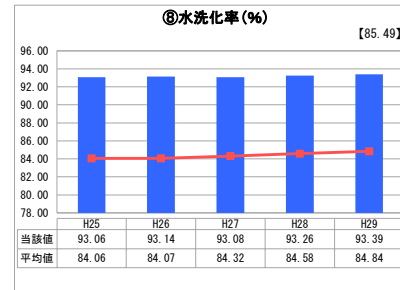
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

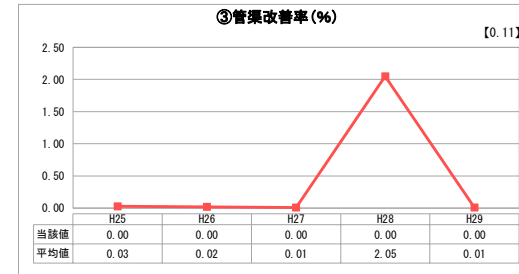
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析概

1. 経営の健全性・効率性について

- 収益的収支比率
100%を上回っているものの、全体的には一般会計からの繰入金に依存した経営となっている。引き続き経費削減をしながらも料金水準の適正化を図っていく必要がある。
- 企業債残高対事業規模比率
面的整備は完了し、以前から0%である。しかし、地方債借入の返還額は今後数年は下降するものの横ばい傾向がつつく。
- 経費回収率
100%を下回っており、汚水処理に係る費用を賄っていない状況である。より健全な経営のため更なる経費削減や財源確保を図る。
- 汚水処理原価
類似団体と比較すると低いものとなっているが、今後もさらに有収水量の向上など経営改善の努力を継続していく。
- 施設利用率
類似団体と比較すると上回っているものの、今後も適正な利用のため努力する必要がある。
- 水洗化率
類似団体と比較すると高い状況にあるが、今後も維持管理等をするための財源確保のために、水洗化の向上に努める必要がある。

2. 老朽化の状況について

管路施設は供用開始からの期間が比較的短いこともあり、管路の老朽化はまだ顕著となっていないが、今後は老朽化による修繕や更新が必要となってくるため、施設の計画的な修繕や更新が必要になってくる。

全体総括

経営の健全性・効率性の項目によっては、類似団体の平均値よりも数値が上回るなど評価できる面もあるが、経費回収率は100%を下回っているため、今後も維持管理経費の縮減や収入増など経営改善へ向けた取り組みは継続していく必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。
 ※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。